

管内の小学生が稲刈りを体験

9月下旬から10月中旬にかけて、管内の小学生在が稲刈り作業を体験しました。5月に田植えを体験してからの待ちに待った収穫に、児童から歓喜の声が上がりました。

9月26日(木)には秋田市立飯島南小学校の5年生が、当JAの保坂昭弘監事の田んぼで収穫作業に汗を流しました。児童は鎌を使って田んぼの中を刈り進め、刈り取った稲をコンバインへ運びました。

稲刈りを終えた児童は「米作りが大変なことがわかった。これからは今までよりも農家に感謝して、米を味わいたい」と話していました。

稲を刈り進める児童

「おらほの青年部(P10)にも小学校の稲刈り授業の様子を掲載しています。



第20回男鹿梨まつり

9月29日(日)、第20回男鹿梨まつりが男鹿市五里合の中石梨選果場で開かれました。会場には出荷最盛期を迎えた梨「豊水」が並び、2年ぶりの開催に多くの人でにぎわいました。女性部や地元企業のブースも設けられ、ご当地グルメや地産野菜、梨のドレッシングや菓子なども並びました。

園地では多くの親子連れが梨狩りを楽しみ、手に取った梨を笑顔で味わいました。選果場内のステージは歌謡ショーやお笑い芸人「ねじ」の漫才などで盛り上がり、約20名が挑んだ梨の皮むき競争では、最長で146センチを記録しました。

皮むき競争に挑む参加者



NEWS & TOPICS

L A 下半期決起大会

10月4日(金)、当JAのライフアドバイザー(LA)が、今年度の下半期に向けた決起大会を秋田市で開きました。各支店での優れた取り組み事例を共有するとともに、下半期も共済事業への理解を深めて加入者のライフプランに合った共済商品提案することで、地域の皆様の安心かつ安全な生活を支えるために尽力することを誓いました。

吉田文勝副組合長は「皆さんの知識をフル活用して、自信を持って業務に励んでほしい」と職員を激励しました。職員からは、支店内の情報共有を進めて円滑な業務に努めている具体的な事例などが発表されました。

決意を固める役職員



新米「あきたこまち」の特価販売に行列

10月5日(土)から13日(日)にかけて、管内の低温農業倉庫4カ所で収穫感謝セールが行われました。令和元年産「あきたこまち」の玄米30キログラムを特別価格で販売し、1等米3748袋、約3200万円を売り上げました。

午前8時の販売開始を前に、倉庫前には多くの車で行列ができるほどの盛況ぶりでした。倉庫内に来場者が車で乗り入れ、JA職員が米袋を車に積み込むドライブスルー方式で販売したほか、地方発送の受付コーナーにも大勢の人が訪れ、親戚や知人などに新米を送る姿が見られました。

玄米を車に運ぶ職員

